



区政白書とは

●区政白書の目的

区政白書は、区政の各分野における事業をわかりやすく紹介したものです。

区政白書を通じて、区民の方に台東区政について今まで以上に興味をもっていただくとともに、台東区の現在の状況や抱えている課題について、情報の共有を図ることを目的としています。

●掲載事業

7ページ～42ページに掲載した事業は、区が重点的に取り組んだものの中から、基本構想・長期総合計画（※解説）に基づく区政の各分野のバランスを考えて選びました。

●掲載内容

それぞれの事業について、「なぜこの事業を行っているのですか?」、「どのようなことを行っているのですか?」、「事業の進み具合はどうか?」、「今後はどのように取り組んでいくのですか?」という4つの視点でお示ししています。

また、専門用語などには解説を加えるとともに、事業の背景や進み具合に関するデータは、グラフにしてなるべく一目でわかるようにしました。

【解説】

基本構想（平成16年10月策定）

20年後の台東区を展望した、区政運営の最高指針となるものです。基本理念のもと、区がめざしていく明日のまちの姿を「将来像」として描き、それを実現するための様々な施策のあらましを「基本目標」として示しています。また、区の目指すべき将来像のイメージを言いあらわした「にぎわい いきいき したまち台東」というキャッチフレーズを作成しました。なお、基本構想の構成図は次ページをご覧ください。

長期総合計画（平成22年3月改定）

平成17年度から平成26年度までの10か年を計画期間として、区が抱える長期的な課題を明らかにし、基本構想に掲げる基本理念、将来像と基本目標を実現するため、施策の方向・目標・手段を示したものです。

この計画を策定してから5年間が経過し、この間に区を取り巻く社会経済状況は大きく変化しました。

そこで、時代の変化を踏まえ、効果的に区の仕事をを行うために、計画の後期期間である平成22年度から26年度について、計画の見直しを行いました。

将来像ごとに見た施策の分野は、「にぎわいと活力のまち」が産業・観光・文化、「いきいきとした個性あるまち」がまちづくり・環境・生涯学習、「暮らしやすいまち」が福祉・健康・子育て・教育となっています。



基本構想 構成図

